

〈対談みどりトーク〉

院長 成瀬聡

新潟大学脳研究所

生命科学リソース研究センター教授 池内健

認知症の研究は
着実に進歩して
います。

〈連載企画〉みどり病院リハビリマインドvol.1

患者さんと共にゴールを目指す

チームリハビリ

〈トピックス〉当院の先進的リハビリテーション

川村医師のリハビリNews



院長
成瀬 聡
satoshi naruse

みどり
対談
トーク

新潟大学脳研究所
生命科学リソース研究センター 教授

池内 健
takeshi ikeuchi

成瀬 本日はお忙しい中ありがとうございます。池内先生とは長い付き合いになりますね。

池内 大学の先輩後輩の間柄で、同じ神経内科に所属していました。当時、成瀬先生が取り組んでいたお仕事が、私が認知症の研究を始めるきっかけになりました。アメリカ留学

も、成瀬先生がおられた研究室で研究をしました。研究の情報からアメリカでの生活面まで、何から何まで教えていただきました。

成瀬 もう20年前の話ですけど、シカゴ大学の先生とはいまだに交流がありますよね。

池内 日本に帰ってきてからも、公私にわたりお世話になっています。

認知症は社会全体で支えなくてはならないもの。そのネットワークづくりを目指して。



成瀬 聡 院長

1986年新潟大学医学部卒業。医学博士。日本神経学会神経内科専門医・指導医、日本認知症学会専門医・指導医。院長としての業務に携わりながら、週2回、脳神経内科・ものわすれ外来を担当。



※写真撮影のため、一時的にマスクを外しています。当院ではマスク着用を徹底しております。

認知症の研究は 着実に進歩して います。

成瀬 2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると言われている中で、より正確な診断や、新しい治療法が期待されていると思うんですが。

池内 認知症は早期に発見して、早期に医療介護ケアにつなげていくことが重要です。昨年発表させていただいたのが、血液によるバイオマーカーの開発です。この研究には成瀬先生にも協力いただきました。MCI※の段階の方の血液を調べて、将来、認知症を発症するリスクを推定するマーカーです。

成瀬 認知症の診断には認知機能検査や脳波検査など、さまざまな検査がありますが、脳脊髄液を採るのが最も信頼度が高い。けれど、腰椎穿刺をして髄液を採るのは負担も大きいですね。

池内 そうですね。血液でできる検査なので、専門医だけでなく、多くの医師に使っていただけるし、患者さんへの負担も少ないというメリットがあります。しかし100%信頼できるものではなくて、診断手法の一つと考えてください。認知症に関する経験と知識がある医師が適切に使うと非常に有用なんですけれど、制限なく使うとかえって混乱を招く可能性があります。

成瀬 あくまで一つのツールなん

ですよ。

池内 そうなんです。

成瀬 大切なのはその先ですよ。今は、認知症を完全に治す治療というのはないので、予防と、発症を遅らせるのが重要になってきますね。

池内 MCIの方も、5年以内に約半数の方が認知症になり、半数の方はならない。認知症は予防できる、発症を遅らせることができるということを知ってもらいたいですね。



認知症を早期に発見、
早期に治療へ結びつけるために、
今できることを全力で。



池内 健 教授

日本の認知症研究の第一人者。1991年新潟大学医学部卒業。医学博士。新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センターにおいて、バイオマーカー開発とゲノム研究を行い、認知症の早期診断方法の確立に力を注いでいる。

成瀬 最も有効性の高い予防法は生活習慣病でしょうか。池内先生のところでも、糖尿病との関連など結構研究されていますよね。

池内 そうですね。やはり糖尿病など、生活習慣病が長く続くと、脳の中のダメージが蓄積していきます。かかりつけの先生と相談して、生活習慣病を適切に管理していくことは、大切な認知症の予防になります。

成瀬 生活習慣病の治療のほかに、運動や、他人との交流などが良いと分かっています。認知症については、色々な事がわかってきていますが、重要なのは国民全体が正しい認知症の知識を持つことです。もっと社会全体で関心を高めてもらいたいです。

池内 認知症は他人事ではありません。親や、自分もなるかもしれないですね。

成瀬 新型コロナウイルスの知識はこの二年でもすごく熱心に学びましたよね。認知症にも今後はより大きな社会の課題となるでしょう。ですから医療従事者や専門家だけでなく、大人から子どもまで、国民がコロナウイルス同様、もっと学んでもらいたいです。

※MCI…軽度認知障害のこと。認知症予備軍とも言われる。MCIの方のうち、年間約5〜15%が認知症を発症すると言われています。



副院長 齋藤 泰晴

副院長としての業務に携わりながら、「食」に不安を抱える方たちの相談窓口である「食支援外来」、呼吸器内科を担当している。

verde <ヴェルデ：コラム>

column 「食支援外来」のご紹介

誤嚥性肺炎が増えています
「しっかり食べる」ための相談窓口があります

ここ数年の間で、日本人の死因で増加しているのは何かご存知ですか？ 2019年の統計によると、1位：がん、2位：心疾患は変わりありませんが、3位：老衰が急増し、肺炎・誤嚥性肺炎も増える傾向にあります。

さまざまな病気や老化によって、食べるのが難しくなることがあります。食べられなくなれば、体を維持することが難しくなり、老衰を迎えます。また、嚥下がうまくできなければ、誤嚥性肺炎を繰り返すようになります。日本人の死因をみれば明らかですが、超高齢化社会を迎えつつある私たちにとって、食べることに問題をかかえる人たちは増えています。

食が細くなり、体重が減ってきた。食べる時にむせる。といった症状をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ でも、どこに相談したらいい

のでしょうか？ 食べることに困難がみられるようになると、場合によっては、専門的な評価に基づいた対応が必要になることがあります。みどり病院では、「食」に問題をかかえる方たちの、相談窓口である「食支援外来」を開いています。こんな症状をお持ちの方は、どうぞ電話でご相談ください。少しでも地域の「食」を支えていきたいと考えています。

■食支援外来
毎週水曜 午後1:00～(完全予約制)
■予約方法
tel.025-244-0080
(午前8:30～午後5:30 休日を除く)

かかりつけ医がいる場合は、まず主治医の先生に相談した上で、できるだけ医療機関からご連絡ください。

内科

笠見 卓哉

滋賀医科大学医学部2012年卒

専門分野
血液内科

資格・認定医
血液専門医



循環器内科

田邊 靖貴

専門分野
循環器内科 内科

資格・認定医
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会内科認定医

リハビリテーション科

和泉 由貴

専門分野
リハビリテーション科

資格・認定医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医

脳神経内科

徳武 孝允

専門分野
認知症、神経内科

資格・認定医
日本神経学会神経内科専門医
日本認知症学会専門医

内科

北川 啓

専門分野
外科、内科

リハビリテーション科

宮入 暁子

専門分野
リハビリテーション科

資格・認定医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科指導医

消化器内科

高橋 弘道

琉球大学医学部2005年卒

専門分野
消化器内科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会消化器病専門医



内科・消化器内科

佐藤 剛司

山形大学医学部2001年卒

専門分野
内科 消化器内科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会
消化器内視鏡専門医



内科・呼吸器内科

松山 弘紀

宮崎医科大学医学部2000年卒

専門分野
呼吸器病学

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
がん治療認定医指導医



副院長・脳神経内科、リハビリテーション科

川村 邦雄

自治医科大学医学部2000年卒

専門分野
内科 脳神経内科
リハビリテーション科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医



診療部長・脳神経内科

矢島 隆二

新潟大学医学部2004年卒

専門分野
認知症 脳神経内科

資格・認定医
日本神経学会神経内科専門医
日本神経学会神経内科指導医
日本内科学会総合内科専門医
日本認知症学会専門医
日本認知症学会指導医
新潟市認知症サポート医



リハビリテーション科

近藤 悟

群馬大学医学部1982年卒

専門分野
リハビリテーション科 一般内科
内分泌・代謝病学

資格・認定医
日本リハビリテーション医学会認定
臨床医



院長・脳神経内科

成瀬 聡

新潟大学医学部1986年卒

専門分野
認知症 脳神経内科

資格・認定医
日本神経学会神経内科専門医
日本神経学会神経内科指導医
日本認知症学会専門医
日本認知症学会指導医
日本内科学会認定医
日本認知症予防医学会評議員
新潟市認知症サポート医



名誉院長・リハビリテーション科

佐藤 豊

新潟大学医学部1974年卒

専門分野
リハビリテーション科

資格・認定医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科指導医
日本リハビリテーション医学会認定
臨床医



副院長・内科、呼吸器内科

齋藤 泰晴

佐賀医科大学医学部1988年卒

専門分野
呼吸器病学 一般内科

資格・認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本呼吸器学会専門医
日本静脈経腸学会認定医



◎医師の紹介

◎非常勤医師の紹介

次号はスタッフ対談で、チームリハビリについて紹介します。



薬剤師

入院中に限らず退院後も安心してお薬を正しく飲むように支援するのが薬剤師の役割です。退院後の生活環境に合ったお薬の形態や服用回数などを多職種で相談しています。



看護師

体調面の管理や日常生活の自立に向けた支援、患者・ご家族様への精神的なサポートを行っています。多職種で連携を図りながら、その人らしさを大切に、看護しています。



介護福祉士

患者さんの身の回りのお世話を中心に行っています。多職種で情報共有しながら、退院に向けて介護指導を行っています。



管理栄養士

効果的なリハビリには栄養管理が欠かせません。患者さん一人ひとりの栄養状態を把握し、食べられる量やカロリー、タンパク質の量などを調整しています。



理学療法士

患者さんの動きを見て、回復のポイントを的確に判断します。病棟での生活のすべてがリハビリです。理学療法士の専門性を活かしながら、他の職種と連携しながら動いています。



作業療法士

日常生活に支障をきたした患者さんの生活動作の再建を支援します。患者さんの「したい」が「できる」になるように、患者さんと目標を共有することを大切にしています。



医師

「リハビリ」＝「体が動くようになる」だけではなく、心の部分にもアプローチし、本人と社会を繋ぐ役割を担っています。



言語聴覚士

口から食べること、大事な人とコミュニケーションをとることなど、生活に不可欠な能力の回復を支援します。家庭復帰だけでなく、学校や職場への復帰もサポートする専門職です。



患者さんと共に
ゴールを目指す

チームリハビリ

verde special

〈連載企画〉

みどり病院

リハビリマインド

vol.1

みどり病院で最多の112床を有する「回復期リハビリテーション病棟」。ここでは急性期の治療が終了した患者さんを受け入れ、集中的にリハビリを行っています。この病棟の役割や特徴について、専門スタッフの皆さんにお話を伺いました。



脳神経内科、
リハビリテーション科
川村 邦雄

副院長としての業務に携わりながら、リハビリ部長として、地域で最先端のリハビリを提供するためにも、新しいことを積極的に取り入れている。

これまで以上の
機能改善を目指して
先進的リハビリテーションを
導入しています。



磁気刺激装置による治療のイメージ

当院での先進的 リハビリテーション

当院でも、患者さんがより機能改善できるように先進的リハビリテーションをいくつか導入しています。そのうち、最近導入したのは反復経頭蓋磁気刺激治療です。

磁気刺激装置を用いて磁石の力を利用し、頭皮を傷つけることなく脳組織に微弱電流を発生させて刺激する方法です。刺激のパターンによって狙った部分の脳組織の活動を抑制、あるいは亢進することで、麻痺の改善や筋肉の硬さを和らげたりすることが出来ます。比較的安全で痛みなどの苦痛を伴うことなく治療ができます。当院では回復期リハビリテーション病棟入院中の脳血管障害治療のひとつとして利用し、従来のリハビリ方法に追加することで、これまで以上の機能改善を図れるように研究・臨床応用しています。

総合リハビリテーション センター！みどり病院

当院は平成16年に回復期リハビリテーション病棟を開設し入院患者さんの機能改善を進めてきました。その後も神経難病リハビリや、地域包括ケア病棟でのリハビリなどを開始しました。現在では外来・訪問リハビリとして在宅の患者さんのリハビリも行っています。

リハビリテーションの歴史

リハビリテーション自体は比較的新しい分野の医療です。その起源は第一次世界大戦です。戦争で負傷した兵士の機能回復の訓練が現在のリハビリテーションの由来と言われており、戦争が生んだ医療分野というわけです。兵士の訓練のため対象者は青年層でした。リハビリテーション医学という言葉が生まれたのは第二次世界大戦後、1950年代頃からです。

1960年以降は戦争もなくなりましたが、戦後復興のための労働災害など、青年層の職業訓練、生活機能の改善を目的にリハビリを行うようになります。

1980年代になると、高齢化社会により、リハビリテーションの対象者は高齢者も含まれるようになり、高齢者の生活の質の向上なども目的の一つ



となるようになりました。介護保険サービスなどの導入もこの頃です。
現在では、リハビリテーションは、職場復帰や経済的自立を支援する目標にとどまらず、障害の原因となる疾患などの予防、治療のために行われています。加齢変化からの障害の予防や機能維持、病気や怪我を治療の際に、以前の状態に可能な限り近づけること、障害の原因となる病気や怪我を予防するためのリハビリテーションなどを目的としてリハビリテーションが行われています。

リハビリテーション 治療法の変化

リハビリテーション医学という言葉が生まれて約70年程度ですが、リハビリテーション治療方法も医学の進歩とともに変化してきました。

当初は単純な道具や人力でのリハビリが行われていたと思われれます。その後の脳機能や筋骨格系の研究に伴い、機能改善を得られる方法・理論の研究とともに産業技術の発展から機械を使ったトレーニングに変化していきます。そして、現在はロボットや電気刺激などを使ってリハビリを行うようになってきました。これらは先進的リハビリテーションと呼ばれています。

施設概要
名称 県庁前神経内科クリニック
開設 平成23年4月1日
所在地 〒950-0962 新潟市中央区出来島1-5-52 tel. 025-282-2266 fax. 025-282-2268
診療科目 脳神経内科、内科
外来受付 月曜～土曜
時間 月・火・木・金／9:00～12:30、 14:30～17:30 水・土／9:00～12:30 日曜、祝日、水曜午後、土曜午後休診



A

Q

人間の万事塞翁が馬。人生良いことも悪いこともあります。最近ではコロナ禍で静かに盆栽をしています。

院長 小林央先生

A

Q

先生の座右の銘、趣味は？
人間の万事塞翁が馬。人生良いことも悪いこともあります。最近ではコロナ禍で静かに盆栽をしています。

A

Q

診療科目と方針を教えてください。
認知症を中心にパーキンソン病などの神経難病のほか、頭痛、めまい、しびれなどの神経内科疾患を診療しています。また、高血圧、高脂血症、糖尿病など生活習慣病の早期発見と適切な治療が大切であることから、一般内科の方も診えています。

連携医療機関の紹介
①



新潟市中央区

県庁前神経内科 クリニック



今回は、2021年2月に公開された映画『라이어×라이어』の原作者である金田一蓮十郎先生に、認知症のあるあるについて、4コマ漫画で絵をかいて頂きました。

絵：金田一 蓮十郎先生
『ジャングルはいつもハレのちグウ』（『月刊少年ガンガン』掲載、第3回エニックス21世紀マンガ大賞準大賞受賞作）でデビュー。代表作に『ジャングルはいつもハレのちグウ』（スクウェア・エニックス）、『라이어×라이어』（講談社）など。青年誌から少女誌まで幅広く活躍中。

お問い合わせ みどり病院 認知症疾患医療センター tel.025-244-5566 fax.025-247-1005

マンガで分かる! 認知症のこと

テーマ

『同じ話を繰り返す』

認知症の初期段階では、ちょっと前のことでもすぐに忘れるようになります。少し前とは、数分前から何日か前などの事をさしますが、物忘れが進行していくと、その【ちょっと前】が短くなっていきます。

家族(周囲の方)へのアドバイス

「何度も同じことを聞いて」と反論したくなる気持ちはわかりますが、反論してみてもすぐに忘れてしまいます。同じことを繰り返す・尋ねるということは、本人が関心や興味があるということになります。それを聞いても聞いても、その傍から忘れてしまうので、また聞くということを繰り返しているのです。

- 反論よりも傾聴
- 傾聴する際は本人のペースに合わせる事が大切
- 本人のペースに合わせるには、本人と行動する時間を持つことが良いでしょう

〈第1回〉 私たちがつくる体操教室

毎週火曜日、病院の多目的室では近隣からお越しになった地域の皆さん(約30名)の元気な声が響いています。

「元気体操の会」は2018年5月より地域の方が介護予防を目的に立ち上げた会です。会運営の中心的存在である世話人さんに質問をしてみました。



Q1 どんな内容の体操を行っていますか？

「体しゃっきり体操(新潟市作成)」をDVDを見ながら行っています。

Q2 参加して良かった事はありますか？

普段から頭の中に体操が残っていて、TVを見ながらでも体を動かす習慣がつかしました。

Q3 最後に、読まれている方々にメッセージをお願いします。

「元気体操の会」は無料で誰でも参加できる会です。気軽にご参加下さい。

詳細は支え合いしくみづくり推進員の
山口・小田(Tel:090-5552-3922)まで
ご連絡下さい。



医療法人 新成医会

認知症疾患医療センター

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目5番1号
tel.025-244-5566

介護老人保健施設 みどりケアセンター

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目5番1号
tel.025-244-0080

介護老人保健施設 緑樹苑

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目4番24号
tel.025-244-6100

みどり訪問看護リハビリステーション

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目4番24号
tel.025-244-0147

新潟市地域包括支援センター 宮浦東新潟

〒950-0913 新潟市中央区鏡1丁目5番16号
tel.025-240-6111

 医療法人 新成医会 **みどり病院**
総合リハビリテーションセンター

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2丁目5番1号 tel.025-244-0080
<https://www.midori-gr.jp>

みどり病院 新潟

検索

